

# カスリン台風から60年 台風シーズンに備えよう

今年も、当町でもみぞうの被害を引き起こした「カスリン台風」から60年という節目の年になります。最近の水害は、台風による被害だけでなく、都市構造の変化などによる局地的な集中豪雨による被害も増加しています。水害による被害を減らすためには、過去の水害を教訓として、一人ひとりが防災に対する心構えを持つことが必要となります。水害シーズンを迎える前に対策を行い、大雨や台風の接近が予想される時は、自宅周辺の点検を心掛けましょう。

## 大雨や洪水から身を守るためには！

### 1 普段からの心構え

■日ごろから気象情報に注意を  
台風が近づいている時など、洪水が起きるおそれがある時はもちろん、日ごろからテレビや

ラジオの天気予報などで、天気の変り変わりに注意しておきましょう。



■避難場所と経路の確認を  
町内には災害時に避難するた



町水防団（消防団）の水防訓練

### 3 洪水が起きたときは

#### ■避難勧告や避難指示に従う

大雨や台風の時、川の水はあつという間に増え、危険です。避難勧告や避難指示が出されたということは、大きな被害になるかもしれないので、速やかに避難を始めましょう。

#### ◎避難勧告と避難指示の違い

避難勧告：住民の生命・身体を災害から守ると同時に災害の拡大を防止するために、町長が特に必要があると認める地域に立ち退きを勧めるものです。避難指示：危険が迫っている時に町長が発するもので、避難勧告よりも強く避難を求めるものです。

#### ■避難する時は足元に注意を

水面下に隠れている側溝やマンホールなどの深みにはまらないうつ、長い棒を杖にするなど、確認しながら歩きましょう。また流れのある所は、足をすくわれることがあるので注意しましょう。

#### ■車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますのでできるだけ避けましょう。また水防活動の妨げにもなりますので、

自動車を堤防や道路に放置しないでください。

#### ■ガス・電気などのチェックを

大きな災害の後には、火災などの二次災害の危険があります。避難する前には、ガスの元栓やブレーカーのスイッチを切るなど火の元のチェックを必ず心掛けましょう。



#### ■荷物は少なく身軽に避難を

荷物をたくさん持ち過ぎてしまうと、行動力が鈍ってしまい、逃げられなくなってしまうこともあります。必要な物だけを持ち出し、素早く行動できるようにしましょう。

#### ■身軽で目立つ服装を

避難する時は、軍手をし、レインコートやカッパなどの雨具を着けましょう。避難していることが分かるように、できるだけ軽く目立つものを着るよう心掛けましょう。

長靴は水が入ると歩きにくくなるため、ひもで締められる履き慣れた運動靴などを履くようにしましょう。

めの「避難場所」が指定されています。避難場所まで安全に避難する経路を、家族や地域で事前に確認しておきましょう。また洪水などにより、経路が通れなくなる場合がありますので、何通りか考えておきましょう。もし洪水が起きた時にも慌てず、家族みんなが安全に避難できるよつに、話し合っておきましょう。



#### ■隣近所との協力を

隣近所の方が災害時要援護者（災害時に必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなど、災害時において防災

#### ■みんなで一緒に避難を

一人で避難することはとても危険です。隣近所の人たちと声を掛け合い、逃げ遅れがないよつにお互いの体をロープで結ぶなどして、気を付けて避難しましょう。

#### ■お年寄りや子どもを優先

避難する時、慌てて行動すると、お年寄りや子どもなど、力の弱い人がけがをしたり、逃げ遅れたりして危ない目に遭います。お年寄りや子どもを優先して避難させるよつに心掛けましょう。



## 水防計画

水防計画とは、水防法に基づき県から指定された水防管理団体が大雨や洪水による水災の警戒・防ぎよ活動や被害を軽減するための計画であり、水防隊員（消防団員）の活動など水害時の体制について定めています。

この計画に基づいて当町では、水防工法訓練を7月15日に実施しました。

活動をとることができない、または困難な高齢者、障害者）の場合、自力で避難する事は困難で支援が必要となります。地域住民全員が安全に避難できるように協力する体制を確立しておきましょう。

#### ■「非常持ち出し袋」を用意

いざ避難する時になってから持ち出すものを用意するのでは遅過ぎます。日ごろから持ち出す物をリュックなどの「非常持ち出し袋」にまとめておきましょう。

#### ◎最低限用意しておく

- 便利なもの（3日分程度）
- 水（白いポリタンクに入れておく）
- 食品（缶詰・缶入りのカップ・カップめんなど）
- キー・カッパ（予備の乾電池も）
- 懐中電灯（予備の乾電池も）
- ラジオ（予備の乾電池も）
- 薬箱
- ろうそく・マッチ
- 着替え・携帯電話・貴重品
- 簡易トイレ（あると便利）

#### ■家の周りの点検を

家の周りに吹き飛ばされそうな物はないか、雨戸やかわら、雨どいなどは傷んでないか確認しましょう。鉢植えや物干しざおなど、飛ばされそうな物は移

動するか固定しましょう。また家の周りの排水溝が詰らないように、掃除をしておきましょう。

### 2 台風や大雨が来たら

#### ■危険な場所には近づかない

水害は大丈夫だと思つていても、急激に迫ってくる場合があります。異変を感じたらすぐに対応するよつに心掛けましょう。また浸水が心配される場合は、家財道具や生活用品を高い場所へ移しておきましょう。

#### ◎山崩れや土石流（鉄砲水）の前兆現象（前触れ）を見逃さない

- 小石がバラバラ落ちる
- 地面にひび割れができる
- 山鳴りや妙な音がする
- がけに裂け目ができる
- 陥没や隆起が起きる
- 川の水が急に濁る
- わき水が止まる
- 山の木が傾いている
- 傾斜面の水が走り出す

以上のような異変が生じたときは、早めの避難と、防災機関への通報をしてくださ



## 洪水予報などの発表文が見直されました

住民の皆さんが洪水の状況を的確に受け止め、避難に役立てるよつに発表文が見直され、洪水の危険度レベルに応じた表現に変更になりました。表の〔 〕内は変更前の名称です。

洪水の危険度レベル	洪水予報の標題	水位の名称	住民に求める行動
レベル5	はんらん発生情報〔洪水警報〕	（はんらん発生）	新たにはんらんが及ぶ区域の住民の避難誘導
レベル4	はんらん危険情報〔洪水警報〕	はんらん危険水位〔危険水位〕	避難の完了
レベル3	はんらん警戒情報〔洪水警報〕	避難判断水位〔特別警戒水位〕	避難を判断する
レベル2	はんらん注意情報〔洪水注意報〕	はんらん注意水位〔警戒水位〕	はんらんに関する情報に注意

水防・洪水出前講座は、8月から通常の予定で順次開催する予定です。一関西消防署平泉分署までお申し込みください。皆さんの多数のご参加をお待ちしています。

#### 問い合わせ先

一関西消防署平泉分署  
☎ 46 0119